

令和5年7月12日

福知山市議会議長 田淵 裕二 様

予算審査委員会委員長 高橋 正樹

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第5号「令和5年度福知山市一般会計補正予算(第2号)」

2 審査の概要

7月4日、5日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。

各所管部署より詳細な説明を受け議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、コミュニティ助成事業について、「事業内容と年度内完了ができるのか」を問う質疑があり、「具体的内容は公園遊具の滑り台とブランコの設置であり、年度内に完了する予定である」との答弁がありました。続いて、「コミュニティ助成事業の周知方法と提出条件」を問う質疑があり「年度初めの自治会長会などにおいて、自治会で使っていただける様々な補助金の中でこの事業についても紹介しているが、いくつかの条件があり、事業の対象となるかどうかを確認した上で、京都府を通じて申請している状況である」との答弁がありました。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種事業について、「福知山市の接種率が他と比較してどのような傾向にあるのか」を問う質疑があり、「春開始接種の接種率は全体で17%(全国では12.5%)、65歳以上の高齢者に限っては接種率49.6%(全国では38.5%)である」との答弁がありました。

次に、公設民営診療施設維持管理事業について、「財源の全額が過疎対策事業債の発行となった理由」を問う質疑があり、「有利な財源を探したが、国、府にはなく、過疎対策事業債を活用すると充当率100%、元利償還金の70%が普通交付税の算入措置になる一番有利な財源であったためである」との答弁がありました。

次に、民間保育所施設整備事業において、「小規模保育園開設に伴う改修工事を行う(仮称)第2なないろえんの事業類型と定員数」を問う質疑があり、「事業類型はA型、定員は

9人」との答弁がありました。

次に、官民連携まちなか再生推進事業について、「国庫補助金応募の経緯と業務委託の内訳」を問う質疑があり、「令和4年4月に本市が公表した立地適正化計画において、歩きたくなる賑わいのある市街地の創出を誘導方針の一つとしており、まちなかにおける回遊性を向上させるために、ウォーカブルなまちづくり、持続可能なまちづくりに官民連携で取り組むことが応募の理由である。業務委託の内訳は、400万円の内、エリアプラットフォームの構築に100万円、残りの300万円を未来ビジョン作成のための業務委託費用としており、未来ビジョンは今年度中に作成する予定である」と答弁がありました。

次に、社会資本整備総合交付金事業（道路整備）の「市道篠尾6号線の道路詳細設計業務と用地測量業務の委託料1,000万円の内訳」を問う質疑があり、「道路詳細設計業務に800万円、用地測量に200万円を計画している」との答弁がありました。

次に、公共交通維持改善事業について、「地域公共交通確保維持事業費補助金について、国からの令和6年度の交付見込みと園福線運行計画のバスの台数」を問う質疑があり、「国の制度である地域旅客運送サービス継続事業を活用し、法律上の特例が受けられるという段取りで、6年度に交付を見込んでいる。なおバスの台数については福知山地域についての運行は1台である」との答弁がありました。

反対討論

なし

賛成討論

なし

3 審査結果

- ・議第5号 全員賛成で原案可決